

大野ダムからの情報提供<令和元年度の取組みについて>

京都府大野ダム総合管理事務所

1 放流連絡等様式の変更について<資料1>

- 異常洪水時防災操作（緊急放流）の開始予測時点での情報提供を追加
- 放流連絡等様式の変更（ダム諸量情報の模式化、下流河川水位の追記）

2 京都府 HP の更新について<資料2>

- 避難勧告等に関するガイドラインの改定に伴う警戒レベルの区分けを表示
- ダム諸量（流入量、放流量、貯水率）の模式図表示

3 更なる事前放流の実施に向けた取組みについて<資料3>

見直しの概要

放流連絡様式を変更し、新たに情報提供を開始

	現 行	変 更	備 考
放流連絡	様式あり	様式変更	放流連絡<ゲート放流>(開始・変更) 異常洪水時防災操作(緊急放流)通知<事前通知> 異常洪水時防災操作(緊急放流)通知<開始通知> 異常洪水時防災操作(緊急放流)通知<終了通知>
情報提供	様式なし	新規様式	異常洪水時防災操作(緊急放流)通知<開始予測>

令和 年 月 日 時 分発表

京都府大野ダム 総合管理事務所 0771-75-0143

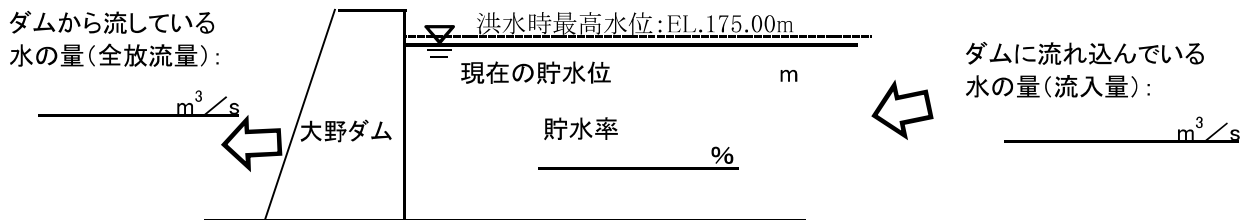
大野ダム 異常洪水時防災操作(緊急放流)通知

河川水位の急激な
上昇に注意！

《 開始予測 》

大野ダムでは、 月 日 時 分頃から、
異常洪水時防災操作(緊急放流)を開始するおそれがあります。
 この操作を開始する場合には、概ね1時間前に通知します。
下流由良川水位の急激な上昇に注意して下さい。
 月 日 時 分現在、ダムの貯水位は、最高水位(EL.175.00m)まで、
 あと mとなっており、洪水を貯留できる容量が残り少なくなっています。

ダムの状況(日 時 分現在) 数値は速報値



(参考) ダム下流の由良川 河川水位(日 時 分現在)

<綾部水位観測所(国土交通省)> (綾部市味方町)

河川水位 m

氾濫危険水位	6.00m
避難判断水位	5.00m
氾濫注意水位	3.50m
水防団待機水位	2.00m

<福知山水位観測所(国土交通省)> (福知山市寺町)

河川水位 m

氾濫危険水位	5.90m
避難判断水位	5.00m
氾濫注意水位	4.00m
水防団待機水位	2.00m

※最新の情報は、京都府HP(<http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/index.html>)の「ダム情報」や「水位情報」で確認して下さい。

※異常洪水時防災操作(緊急放流)とは、ダムの貯水位が満水近くまで上昇し、ダムに貯留できる容量が少なくなった場合に、ダム天端から水が越流してダムが制御不能となり、下流への放流量が一気に増加することを防止するため、洪水時最高水位(サーチャージ水位)(貯水池が満杯状態)となった時点でダムからの放流量が流入量と等しくなるように、段階的に放流量を増やしていく(ダムに貯める量を減らしていく)操作です。

受信確認

通知先機関名 (手段)	電話	FAX	受信確認(電話)			
			受信者	時刻	発信者	
河川課・砂防課 (砂防課 防災担当)	FAX	①防: 8(7)-700-5318 ②NTT: 075-414-5318	①防: 8(7)-700-8133 ②NTT: 075-432-6312			
時間外:保安室	FAX	①防: 8(7)-700-8145	①防: 8(7)-700-8146			
関西電力(株) 和知ダム	電話	①対向電話 ②防: 8(7)-817-8109 ③NTT: 0771-84-1122	①防: 8(7)-817-8100 ②NTT: 0771-84-1122			
京丹波町 和知支所	FAX	①NTT: 0771-84-0200 ②防(総): 8(7)-816-8102 ③防(宿): 8(7)-816-8103	①防: 8(7)-816-8100 ②NTT: 0771-84-0789			
国土交通省 福知山河川国道事務所 (水防企画係)	FAX	①NTT: 0773-22-5104 (日中:水防企画係 時間外:宿直) ②防: 8(7)-837-8101	①NTT: 0773-22-9384 ②防: 8(7)-837-8100			
公営企業管理事務所	FAX	①NTT: 0773-27-0160 ②防: 8(7)-836-8101	①防: 8(7)-836-8100 ②NTT: 0773-27-4087	-	-	-

ダム横断面図 [大野ダム]

2019年04月23日 05時00分 現在

貯水池の状況

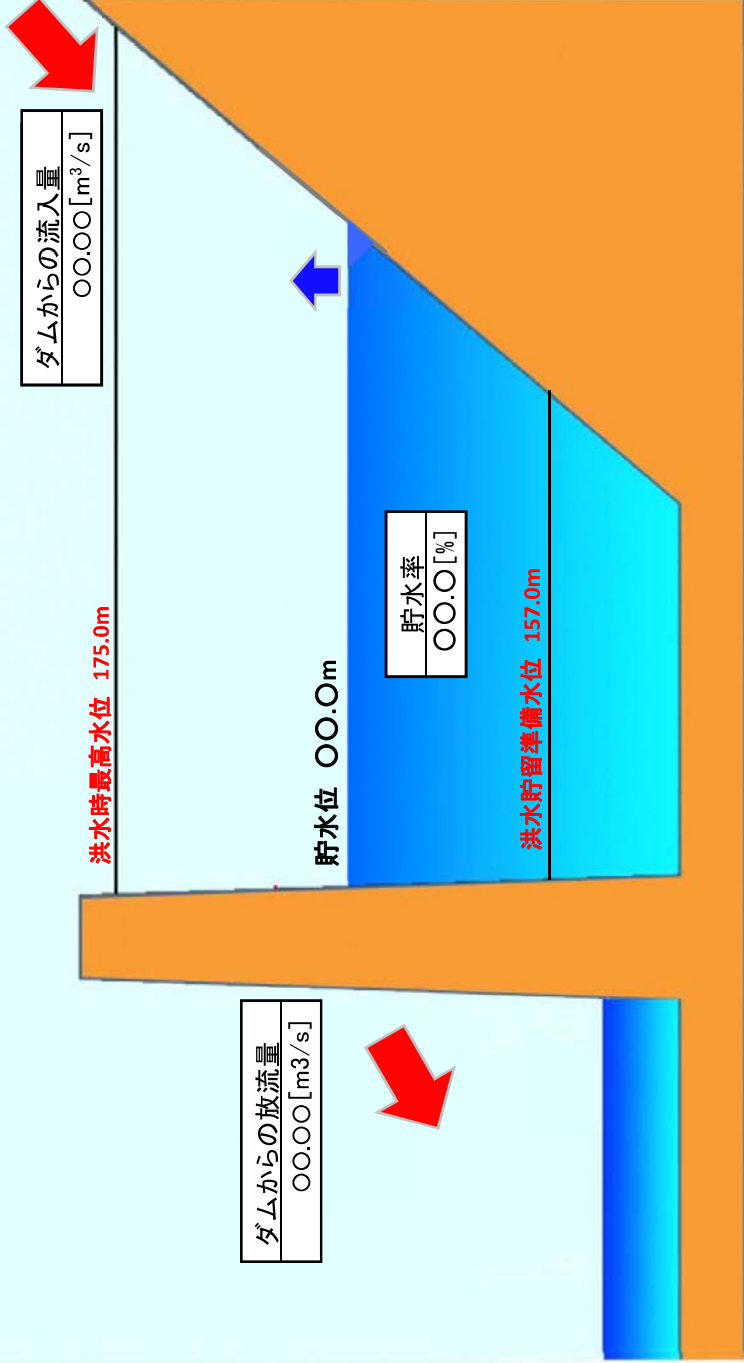


現在の危険度レベルとダム操作

レベル	3
ダムの操作状況	異常洪水時防災操作の開始予測

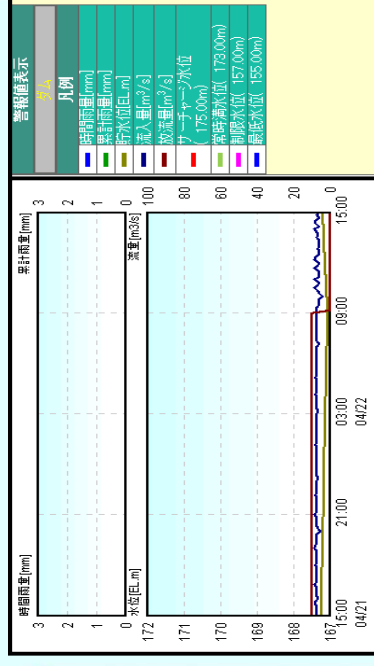
ダム諸元

所在地	京都府南丹市美山町檜原
河川名	由良川水系由良川
型式	重力式コンクリート
有効貯水容量	2,132万 ³ m



ダム操作の用語

異常洪水時防災操作 (緊急放流)	大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じたため、放流量を徐々に増加せ、流入量と同じ流量を放流する操作
洪水調節	ダムに流れ込む水量の一部を貯水池に貯め込む操作 大野ダムではダムに流れ込む水量が500m ³ /sを超えると貯め始めます。

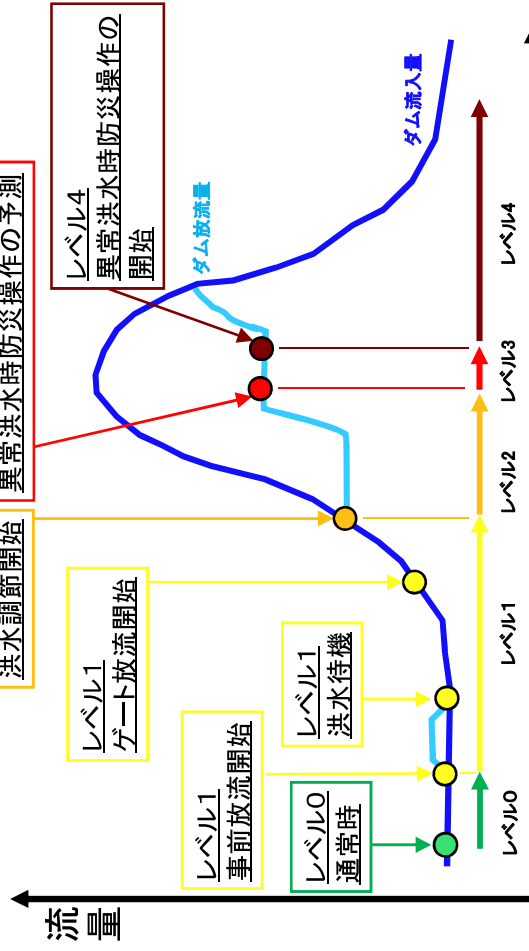


詳しい雨量、ダム流入量・放流量・貯水位のデータはこちら
[グラフ表示](#)
[一覧表示](#)

レベル	カラー表示	大野ダムの操作状況
レベル4	非常	異常洪水時防災操作 (緊急放流) の開始から安全が確認されるまで
レベル3	危険	異常洪水時防災操作 (緊急放流) を開始することが予測された時
レベル2	警戒	洪水調節中 (貯留)
レベル1	注意	25~500m ³ /s以下の放流
レベル0	通常時	25m ³ /s以下の放流のみ

- ダムの放流量などの定量的な情報だけでなく、危険度レベルに応じたカラー表示等の情報発信を実施
- 地域住民や河川の利用者がその危険性を直感的に理解

ダム情報等の危険度レベル



レベル	カラー表示	大野ダムの操作状況
レベル4 非常		異常洪水時防災操作(緊急放流)の開始から安全が確認されるまで※
レベル3 危険		異常洪水時防災操作(緊急放流)を開始することが予測された時
レベル2 警戒		洪水調節中(貯留)
レベル1 注意		25~500m ³ /s以下の放流
レベル0 通常時		25m ³ /s以下の放流のみ

※安全が確認されるまでは、

- ・ 今後、まとまった降雨予測がない
 - ・ 貯水位が低下傾向
 - ・ 貯水率が50%以下
 - ・ 下流河川の状況
- など、総合的に判断



令和元年5月

大野ダムの更なる事前放流の実施に向けた取り組みについて

京都府建設交通部河川課
京都府大野ダム総合管理事務所

1 概要

更なる事前放流の実施に先立ち、これまでの目標水位である標高 155.0mをさらに段階的に低下させ、ダム管理設備、貯水池、ダムからの放流水の影響の有無を確認する実験を実施（今回は 1.0m 低下を目標）

2 実施内容

- ・実施日時 令和元年5月23日（木）8：30～16：30
- ・最大放流量 25m³/s以下（発電の最大放流量と同量）
- ・流入量 約5m³/s
- ・低下水位 155.14m→154.00m

3 結果

- ・管理設備
ダムコン、除塵フロート等のダム管理施設への影響なく正常に作動
- ・貯水池の水質（濁水）
濁りの発生はなし
貯水池上流端で若干の濁りが発生したものの沈降
- ・放流水の水質（濁水）
著しい濁りの発生はなし（濁度データは整理中）

4 今後の課題

- ・台風期の事前放流の実施に向けて、放流量等について関係機関と調整
- ・京都府公営企業による発電への影響について調整
（発電停止から再開までの時間：約 50 時間）
- ・標高 153m以下で影響を受けることが判明した発電取水用除塵フロートの改修

【ダムからの放流状況】



ダム堤頂から下流方面（16 時頃）
放流量 24.79m³/s、貯水位 154.05m

【ダム断面図】

